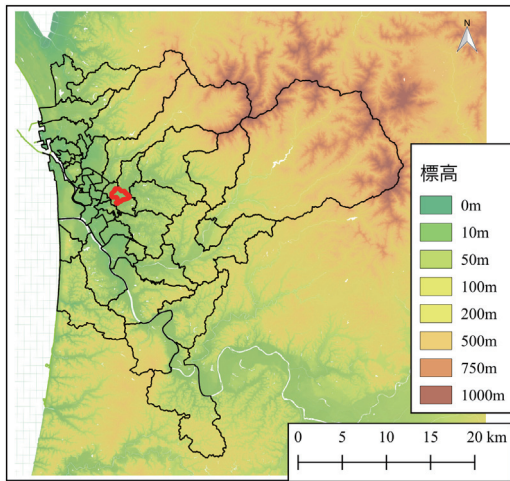


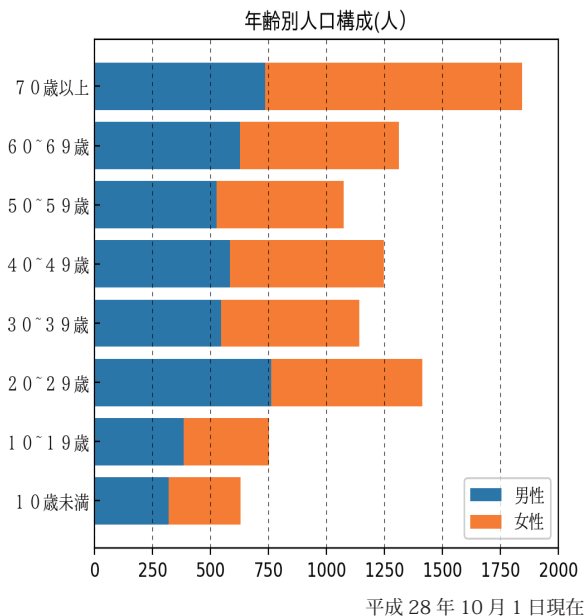
24：東小学校区

位置図



1 居住者の現況

人口	9,711 人
世帯数	5,092 世帯
65 歳以上人口	2,554 人
10 歳未満人口	630 人



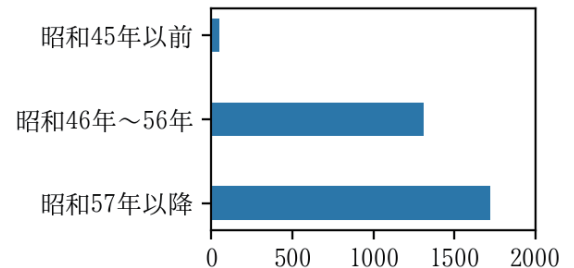
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	3085
非木造建物	522

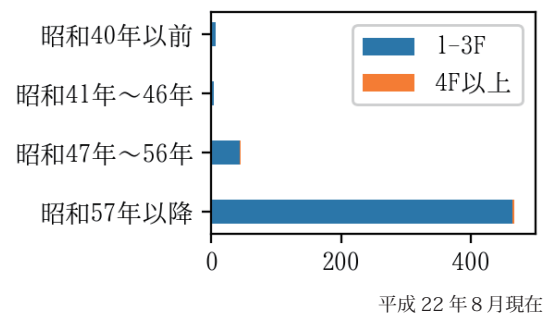
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	1,724
昭和46年～56年	1,312
昭和45年以前	49



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	465	3
昭和47年～56年	44	1
昭和41年～46年	3	0
昭和40年以前	6	0



自然的・社会的基本指標

JR 秋田駅の東側に位置し、太平川に南縁を画された学校区であり、地形は平坦で沖積層が堆積した地盤となっている。1983 年日本海中部地震では、学校区内で地盤の液状化が発生した。ほぼ全域に亘って市街化されており、建物、人口とも他学校区と比較して多い地域である。住居専用地域・住居地域・商業地域となっている。建物、人口とも他学校区と比較して多い地域である。人口構成は 20 歳台～40 歳台の占める割合が高い。65 歳以上の高齢者層は、全体の 26% である。昭和 57 年以降の建築物が全体の 61% を占め、特に昭和 57 年以降に建築された低層の非木造建物が多い。

3 自然災害に関する指標（平成 29 年 3 月現在）

■ 洪水

指定河川	太平川	雄物川	
浸水面積 (%)	43.2	5.2	
最大浸水深 (m)	ランク 4	ランク 2	

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	0	該当箇所なし
土石流危険渓流	0	該当箇所なし
地すべり危険箇所	1	桜
なだれ危険箇所	0	該当箇所なし

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	0	該当箇所なし
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震（どこにでも起こりうる直下の地震：M6.9）

平均震度	震度 6 強	
(計測震度)	(6.11)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	92	
液状化危険度ランク	4	
建物全壊率 (%)	9	

* 津波（秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合）

浸水面積 (%)	(該当なし)	
最大浸水深 (m)	(該当なし)	

4 災害時要配慮者に関する指標（平成 29 年 3 月現在）

■ 要支援者関連施設（収容施設のみ）

種別	施設数
高齢者支援	7
婦人幼児支援	3
障がい者等支援	7

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	3
こども園	0
幼稚園	1

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	3

■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	1
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標（平成 29 年 3 月現在）

■ 消防関連施設

消火栓数（箇所）	89
防火水槽（箇所）	3
消防車台数（台）	6
消防ポンプ数（台）	1
消防団員数（人）	37

■ 避難所／避難場所（別表参照）

災害種別	施設数
洪水	1
土砂災害	6
地震	6
津波	0
福祉避難所	2
津波避難ビル	0
津波警報サイレン	0

■ 救急・防災関連施設

種別	名称／箇所数
管轄消防署	城東消防署
管轄警察署	秋田東警察署
病院・医院数（歯科を除く）	16
最寄りの救急告示病院	秋田県立 脳血管研究センター
自主防災組織数	8

自然災害時の危険要素

太平川の右岸にあたる地区では太平川の洪水氾濫により広範囲で浸水が発生すると想定されている。また、雄物川の氾濫によっても浸水するところがある。

土砂災害の危険性はほぼ無い（地すべり危険箇所 1 箇所を除く）。

地震動としてはほぼ全域同様の揺れやすさとなっている。液状化の危険性は高い。津波による浸水のおそれは想定されていない。

防災上の課題と対策

東小学校区内では 1983 年日本海中部地震で地盤の液状化が発生しており、今後も大地震の際に液状化が発生するおそれがある。

本小学校区は、秋田市の中心部に位置しており、人口・建物ともに市内で最も密な区域に属する。建物の約半数が旧耐震建築物である。人口はやや減少傾向にあるものの、20 歳～ 50 歳台の比較的若中年層の占める割合が高いことから、その災害対応力に期待できる。

避難場所、施設はほぼ学校区の中心部に位置しているものの、所によっては、やや避難距離が長くなっている区域もある。避難所の収容能力は、全人口の約 17% 程度である。防災に関する知識や防災関連情報の周知・徹底に加え、地域住民が住民同士の協力関係の構築、地域意識の醸成に努め、日常から適切な防災活動ができるよう支援していくこ

とが有効である。	
----------	--

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ / 土石流	地震	津波	大規模火災	
東地区 コミュニティセンター	○	x	○	○	x	x	122 人
秋田市民交流プラザ	○	○	○	○	x	x	612 人
東小学校グラウンド	x	x	○	○	x	x	4,590 人
東小学校（体育館）	○	x	○	○	x	x	329 人
城東中学校グラウンド	x	x	○	○	x	x	6,195 人
城東中学校（体育館）	○	x	○	○	x	x	677 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
ひだまり老人デイサービスセンター	東通仲町 4 番 1 号	018-884-1400
障害者支援施設ひだまり	東通仲町 4 番 1 号 秋田拠点センターアルヴェ 5 階	018-884-1400

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
(該当なし)			

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

